

令和8年度 杉並区立東田中学校 学校経営計画

杉並区立東田中学校
校長 鳥居 利至

1 教育目標

これからの義務教育に求められるのは、激しい変化とともに日々進化する社会の中で、自立し、社会に貢献し、たくましく生きることができる「人間力」の向上である。

その実現に向けて、杉並区教育ビジョン2022が謳う「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を基本理念とし、生徒・保護者・地域社会の実態に基づき、次のとおり「校訓」及び「教育目標」を設定する。

- ◎ 校訓「伸びていく」 ～自ら学び、自ら治め、自ら営み、自らを愛す～
- ◎ 教育目標「自立力 社会力」

教育活動において、教育目標「自立力、社会力」を生徒につけさせるために教育実践を推進する。生徒が「主体性をもって実践する行動力、社会に大きく貢献できる実践力」をつけさせるためには、教育活動全てにおいて、教育目標「自立力、社会力」を意識し、教職員が意図的、計画的に指導することを重視する。

2 めざす生徒像

- (1) 主体的に学び、考え、判断し、表現できる生徒
- (2) 互いを認め合い、他者と協働できる生徒
- (3) 社会に貢献し、たくましく生きる力を身につける生徒

3 めざす学校像

- (1) 自立力、社会力を基盤とする自治力のあふれる学校
- (2) 生徒一人ひとりが自らの良さを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- (3) 教職員一人ひとりが人権感覚を磨き、自信と誇りをもち、共に成長していく学校
- (4) 開かれた学校
- (5) 特別支援教育が充実している学校

4 学校経営の基本的方針

＜すべて生徒が尊重され、みんながしあわせになる学校をめざして＞

- (1) 安心安全な学校
- (2) 教育DXの推進
- (3) 学力向上
- (4) 豊かな心の育成
- (5) 体力向上
- (6) 特別支援教育の充実
- (7) 小中連携の推進

5 学校経営計画重点目標

- 教育DXの推進 — ICTを効果的に活用し教育の質を向上(授業改善)させる—
- 豊かな心の育成 — 豊かな心を育み、自他の尊重と居場所作りを行う—
- 学力・体力の向上 — 主体的・対話的な学びの実践と基礎体力の向上を目指す—

6 目標達成のための方策

(1) 安心・安全な学校

- ① 「東田中いじめ防止基本方針」に則り、いじめ対策委員会を中心とした迅速かつ組織的な対応を行う。
また、生徒一人一人を尊重する教育を進める。特にいじめは人権問題であることを認識させるとともに、いじめの早期発見・早期対応などいじめ防止対策委員会を中心に組織的に対応し、いじめのない学校をめざす。
- ② セーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室等を通して生徒の安全への意識を高め、安全な生活を送る態度の育成を図る。
- ③ 「SNS東京ルール・東田ルール」等地域保護者と連携した安全教育を実施する。

(2) 教育 DX の推進

- ① 対話的で主体的な学びを軸に ICT を効果的に活用し学びの質の向上を図る。
- ② 1人1台のタブレット PC 等の ICT 機器を積極的に活用するとともに、考える場面や少人数での話し合い、発表する場面を意図的に取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに、個別での最適な学びと協動的な学びを展開する。
- ③ 様々な場面で積極的に PC を活用し、より効率的な職場環境を構築する。

(3) 学力向上

- ① 学級経営を充実させて生徒が安心して発言できる学習環境をつくとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために指導方法や教材開発、発問の工夫などを行い、「学びの構造転換」を図る。
- ② 国の学力定着度調査等の結果を分析や研究的実践等により教育の更なる質の向上を図る。
- ③ 関係機関や地域・保護者と連携した体験活動の充実を図る。

(4) 豊かな心の育成

- ① 生徒間および教師との互いの人格を尊重しながら信頼関係を築き、生徒一人ひとりが自立する力、集団の一員としての社会力がつくよう、学年・学級経営案を工夫する。特に学級経営では、子どもたちの主体的な活動を促し、一人一人が安心して生活できる学級づくりを進め、学級経営の充実を図る。
- ② 特別活動を充実させ、様々な体験学習を通して豊かな人間性や社会性と人権尊重の意識を育む。
- ③ 清掃や当番活動、ボランティア活動等を通して社会性や規範意識、奉仕の心など豊かな人間性を育成する。また、多様な価値観や背景を理解し、互いを認め合う態度を育む人権教育を推進する。

(5) 体力向上

- ① 生徒の体力・運動能力を把握するとともに、体力向上を図るために指導方法の研究・開発を行う。
- ② 杉並区学校支援課（部活動活性化事業・外部指導員事業等）と連携を図り、部活動の円滑な運営を行うとともに、豊かなスポーツライフの実現を目指した健康教育を推進する。
- ③ 学校給食では、アレルギー対応の徹底を図る。また、生徒・保護者への食育に対する啓発を推進し健全育成に努める。

(6) 特別支援教育の充実

- ① 特別支援教室の教員、専門委員、スクールカウンセラー、心理士、各学年等のメンバーで、校内員会を週1回程度実施して情報交換を行い、配慮を要する生徒への理解と支援の充実を図る。
- ② 特別支援教室に関する理解と連携を進めるとともに、特別支援教育に関するリテラシー向上のため研修の充実を図る。
- ③ ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境を整え、生徒が集中して授業に取り組める学習環境の整備に努める。さらに、近隣小学校との連携を深め、連続性のある多様な学びの場の一層の充実を図り、一人一人の教育的なニーズに応じた支援や指導を組織的、継続的に行う。

(7) 小中連携の推進

- ① 杉二小学校・東田小学校との合同研修や生徒の交流の推進
- ② 小学生の中学体験授業や交流、合唱リハーサルの公開等の充実と各種祭り等での交流を推進。
- ③ あらゆる場面で、合理的かつ効果的な小中連携を模索し、生徒にとって義務教育9年間でよりスムーズに過ごせる環境作りを行う。